

市原市 仮想空間で採用説明会



メタバースで開いた採用説明会の様子＝市原市役所

市原市は27日、インターネット上の仮想空間「メタバース」で初の職員採用説明会を開いた。人事担当者や若手職員が自分の分身のキャラクター「アバター」で登場し、組織や仕事の内容について紹介した。

仮想空間には、事務、保健師、消防の職種ごとの部屋が設けられ、計9人の就職希望者らがそれぞれ自分のニックネームを入力し、アバターで参加した。

職種・やりがい…アバター通じ紹介

参加者は、市や仕事の内容を紹介する動画を見た後、先輩職員から仕事のやりがいや職場の雰囲気などを聞き、その場で質問するなどした。

「保健師」の部屋では、「男性はどこに配属されるのか」「配属先の希望は通るのか」といった質問に、保健センターに勤務する女性職員らが対応した。女性職員は「対面の方が表情は分かりやすいけど、メタバースは気軽に参加できるのがメリット」と話した。

市は千葉商科大学、NTT東日本と連携し、行政サービスへのメタバースの活用を探る取り組みを進めており、今回の採用説明会はその一環。荒井護夫・人事課長は「新たな分野にチャレンジする市の姿勢を感じてもらい、就職先のひとつとして市原市を選んで頂くきっかけになれば」と話す。

(前田基行)

『朝日新聞』2024年5月28日付<地域面>